



5月図書委員会各班の活動

ビブリオバトル開催！

今年度もビブリオバトルが開催されます。自分の好きな本や人におすすめしたい本の魅力を思う存分語ってみませんか？

発表してくれた人には参加賞が、チャンプ本に選ばれた

人には景品として3,000円の図書カードが贈られます。

【日付】7月11日（金）5・6校時（学校行事）

【場所】体育館



ビブリオバトルってなに??

ビブリオバトルとは、「おすすめの本を5分で紹介する、本の紹介コミュニケーション」です。

全員の発表が終了すると、参加者（発表する側・発表を聞く側）が一人一票を投票し「チャンプ本」を決めます。この時に大事なものは、どの本が読みたくなったか、という点です。紹介した人の話が上手だから、発表者が友だちだから、という理由での投票はNGです。「チャンプ本」に選ばれるには、発表の上手い下手は関係ありません。

2班活動内容～展示～

2班は「食べ物」をテーマに4冊の本をそれぞれが選び、図書館入口に展示しています。

選んだ本のポップやテーマの看板を作製しました。展示は終了間近です。早めに見に来てください。



4班活動内容～選書～

4班は一人1冊ずつ、蔵書構成を意識して選書を行いました。

選書し、購入した本はこちら

『大阪ことばの謎』金水敏 SBクリエイティブ
『ねこがおうちにやってきた!』山本宗伸 学研出版
『図書館にまいこんだこどもの大質問』こどもの大質問編集部 青春出版社



裏面もあるよ

野尻先生にインタビュー

野尻先生に読書にちなんだインタビューを行いました。
野尻先生の隠された一面が今暴かれる？！

Q1 最近読んだ本はなんですか？

A 『人生後半の幸福論』 齋藤孝（著）

まだまだ「心の現役感」を失うことなく、自分の衰えと上手に付き合いながら、自分の価値観に即した生き方を目指す術（すべ）を教えてください。

Q2 好きな本はなんですか？

A 『少しだけ、無理をして生きる』 山城三郎（著）

大変な無理だと続かない。ほんの少しだけ、自分を無理な状態に置く。つまり挑戦し続ける。広田弘毅（こうき）、渋沢栄一ら、自分の利を計らうためではなく、国家のために闘った人たち。真の人間の魅力とは何かを語り尽くしている一冊。

Q3 おすすめの本はなんですか？

A 『君たちは偉大だ』 百瀬昭次（著）

みなさんは「潜在意識」について知っていますか。
「私は偉大な人間だ」と自分自身に何回も言い聞かせ、そのイメージを描きながら努力を続けていけば、「潜在意識」はその人を偉大な方へ仕向ける働きをして、実際にそのような人間にしていくのです。
この本はみなさんがどれだけ素晴らしい存在であるかを全編にわたって分かり易く説明し、みなさんに大きな勇気、やる気を与えてくれます。
是非、読んでみてほしいと思います。



Q4 犬派？猫派？

A 猫派

優しく撫でてやることで、自分の気持ちも和み癒されます。



担当：図書委員 4 班



図書案内

6 月は街づくりや観光に関連した本特集です。
図書館では是非一度手に取ってみてください。



『喜多方物語—ラーメンで町おこしに挑んだ男たち』

荒井尚之 ワック

『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』

國學院大學地域マネジメント研究センター(編) 浅倉書店

『歩いて読みとく地域経済: 地域の心構えから考えるまち歩き入門』

山納洋 学芸出版社

『図解でわかる 14 歳から学ぶこれからの観光』

社会応援ネットワーク 太田出版

『東大卒、じいちゃんの田んぼを継ぐ』

『廃業寸前ギリギリ農家の人生を賭けた挑戦』 米利休 KADOKAWA

『地元がやばい…と思ったら読む 凡人のための地域再生入門』

木下斉 ダイヤモンド社

『13 歳から考えるまちづくり』 岡田知弘 かもがわ出版

『ウィキペディアでまちおこし みんなでつくろう地域の百科事典』



伊達深雪 講談社